

つながりを誘発するための 仕組みに関する研究

中野市政策研究所 中間報告会

日時: 11月22日(金) 9時30分

危機管理課
文化スポーツ振興課
市民課
政策情報課

荒井 茂樹
柳澤 陽介
篠原 友貴
久保田 恭平

目次

1. 研究の背景・目的
2. 研究概要
3. 研究内容
 - (1) 19市へのアンケート調査
 - (2) 団体へのアンケート調査
4. 今後の進め方

1. 研究の背景

- 全国的な人口減少
- 社会構造の変化による地域コミュニティの衰退やつながりの希薄化

1. 研究の背景

- ・「コミュニティ大作戦会議」
(平成31年4月開催)

主催：(公社)中野青年会議所

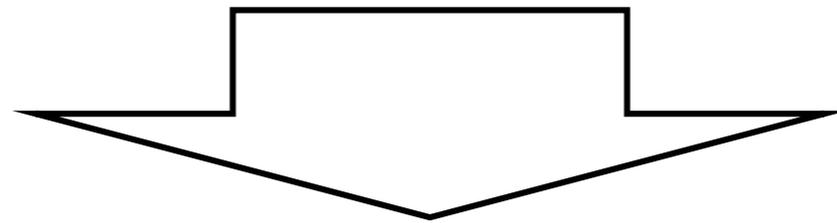
◆アンケート結果

- (1)他の団体との連携・つながりを求めている
- (2)活動内容を地域に伝えきれていない
- (3)活動力の低下

1. 研究の目的

【人との「つながり」は】

- まちの活性化や課題の解決に寄与する大きな要素
- 「市民参加と協働のまちづくり」を推進する原動力



「つながり」を誘発する仕組みを
見出す必要がある

1. 研究の目的

「つながり」の定義

- 実社会における対話を通じて、互いの思いや活動を共有し、継続的な交流の場を持つことができる関係

2. 研究概要

- 調査対象：特定の目的をもって活動する
市民活動団体等
- 研究内容：(1) 19市へのアンケート調査
(2) 団体へのアンケート調査
(3) ヒアリング調査
(4) ワークショップの開催

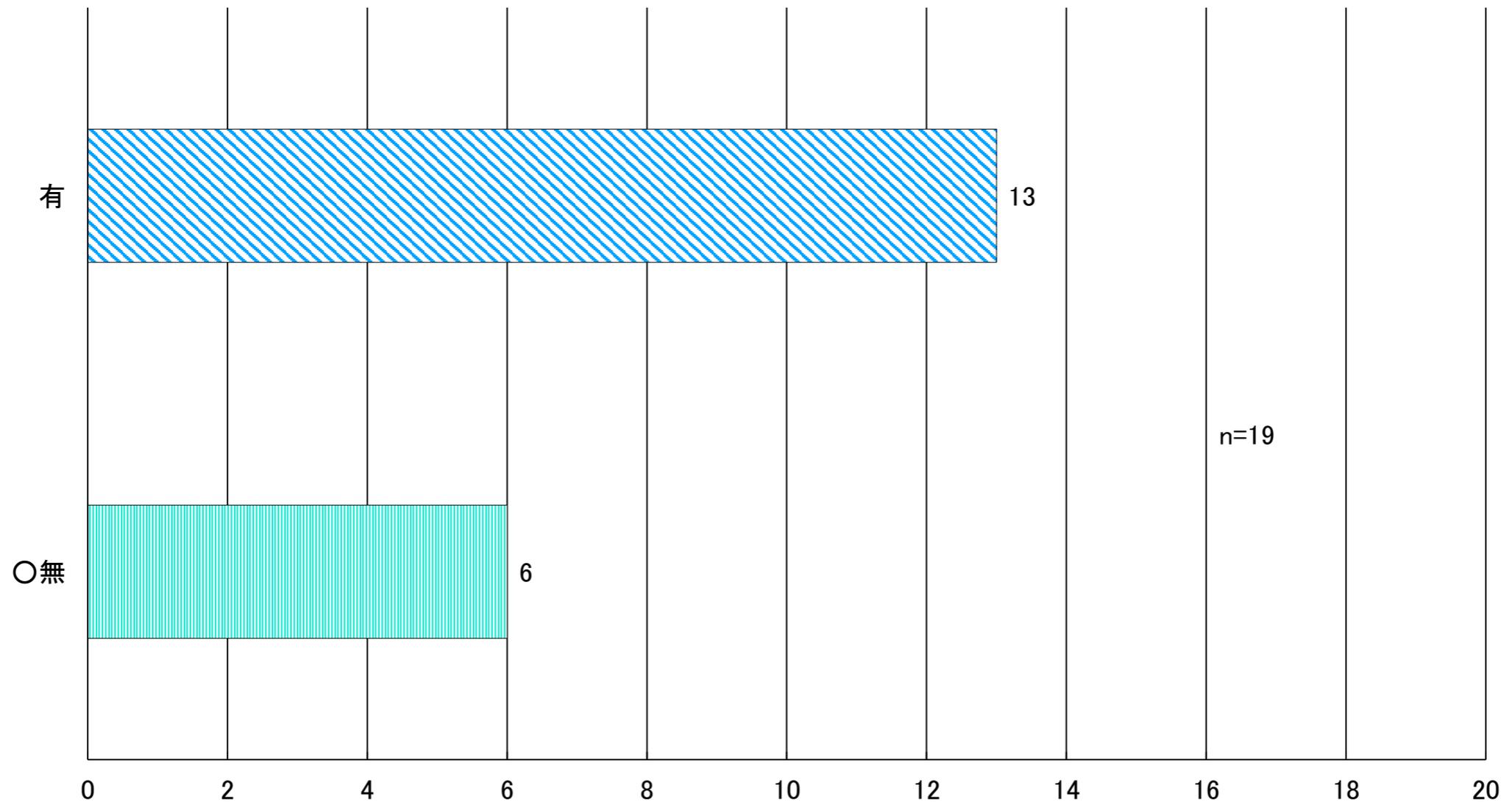
3. 研究内容

(1) 19市へのアンケート調査

- 実施期間：令和元年8月中旬～下旬
- 対 象：長野県内19市
- 回収率：100%

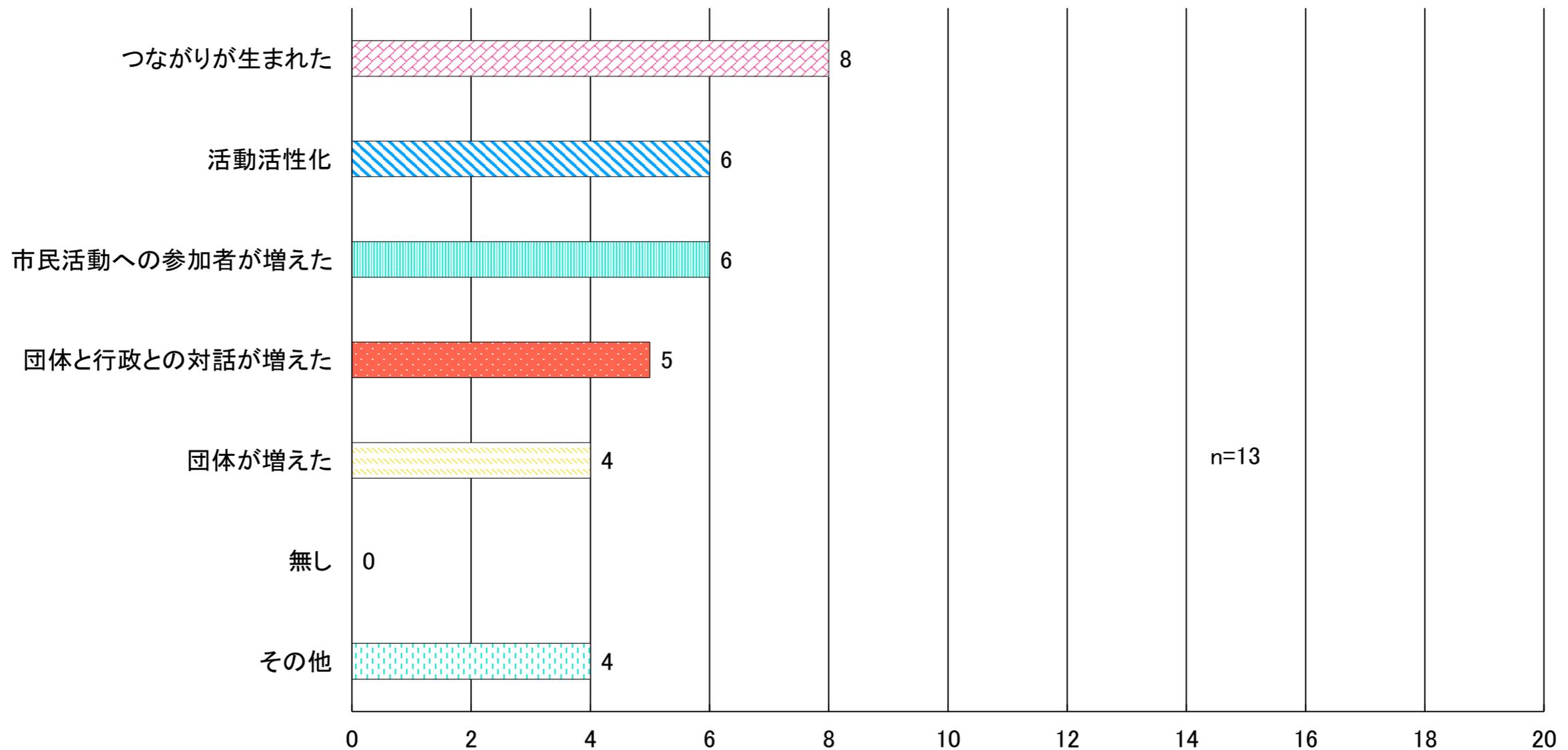
3. 研究内容(1)

◆市民活動団体を支援するセンターの設置



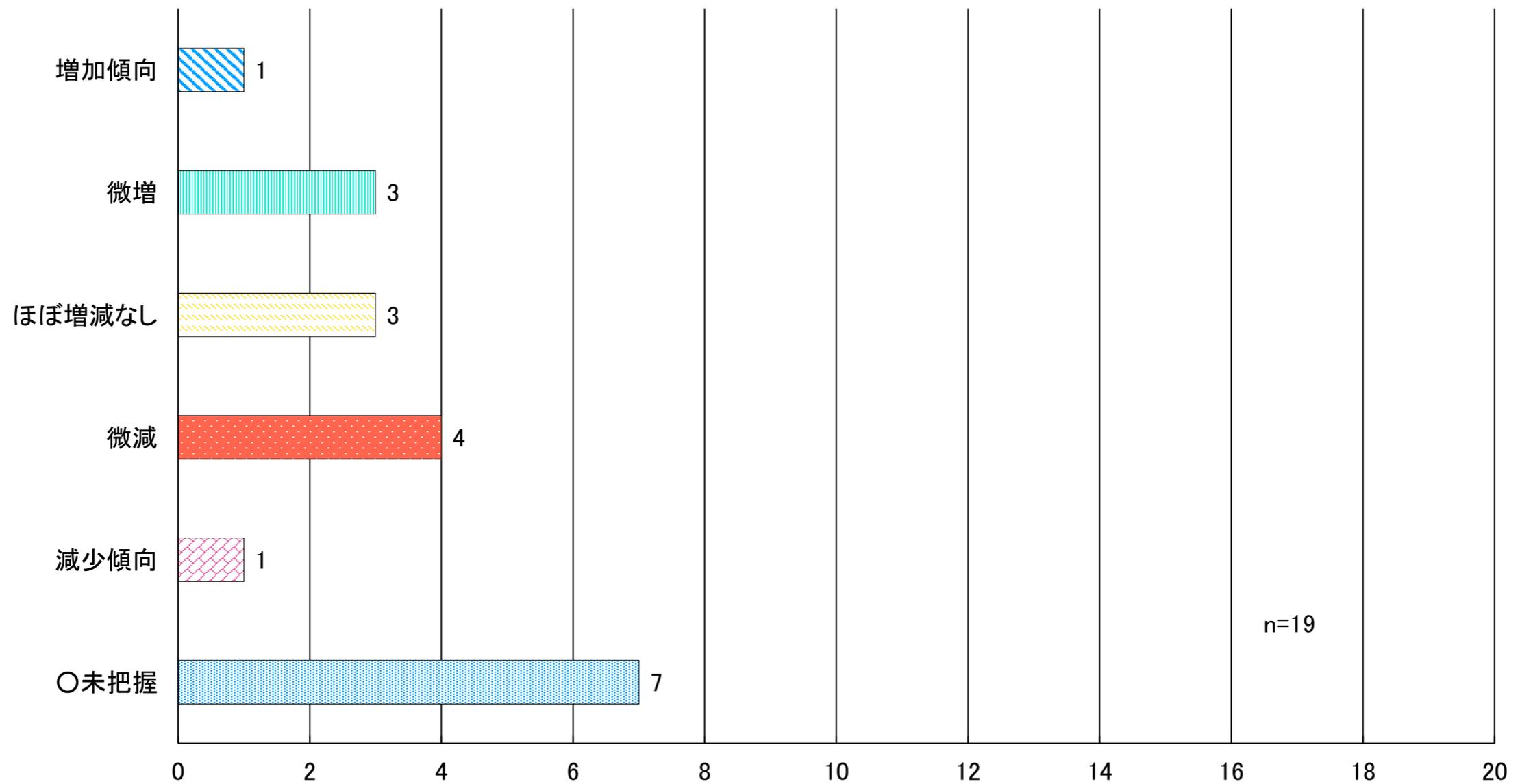
3. 研究内容(1)

◆センターの設置の効果



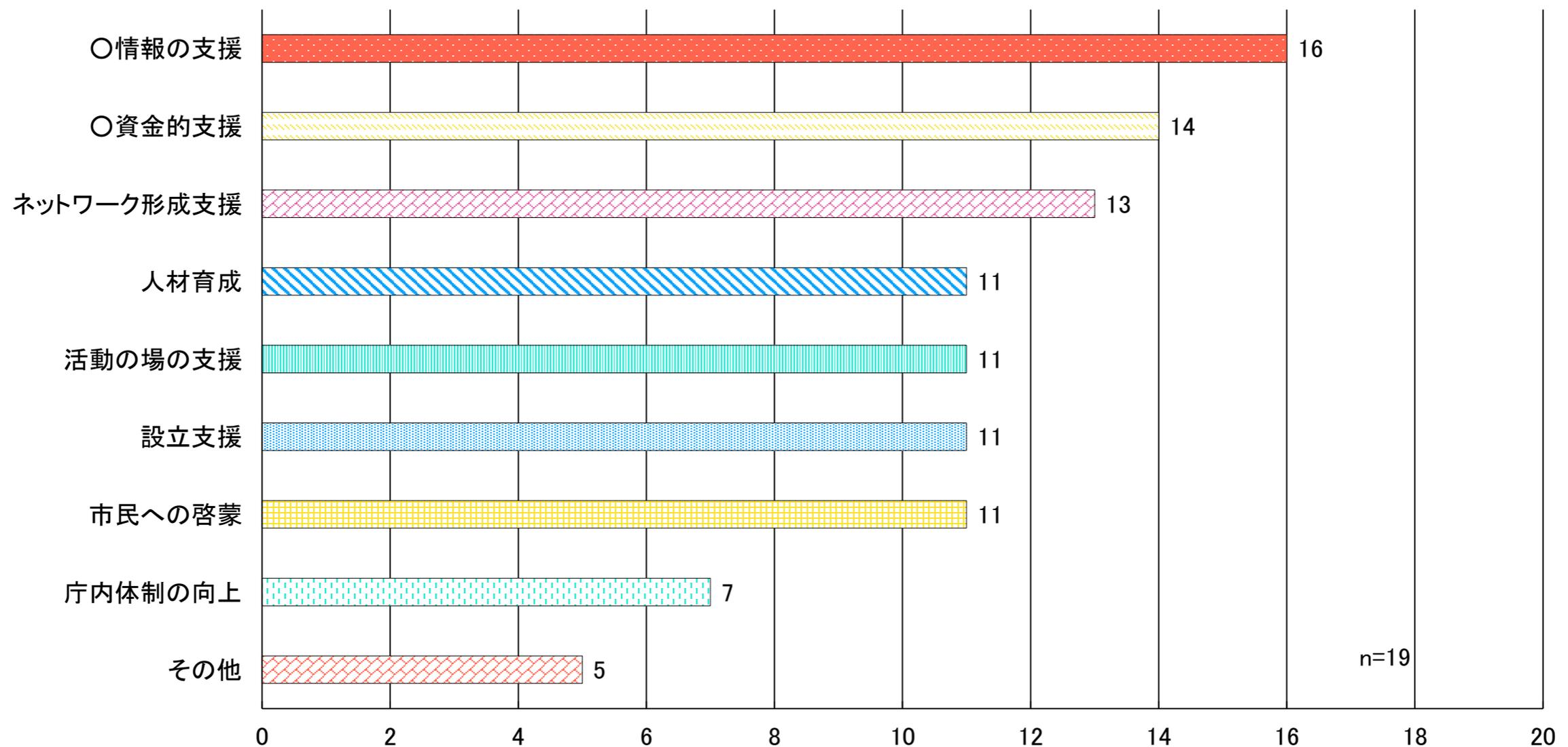
3. 研究内容(1)

◆市民活動団体の推移



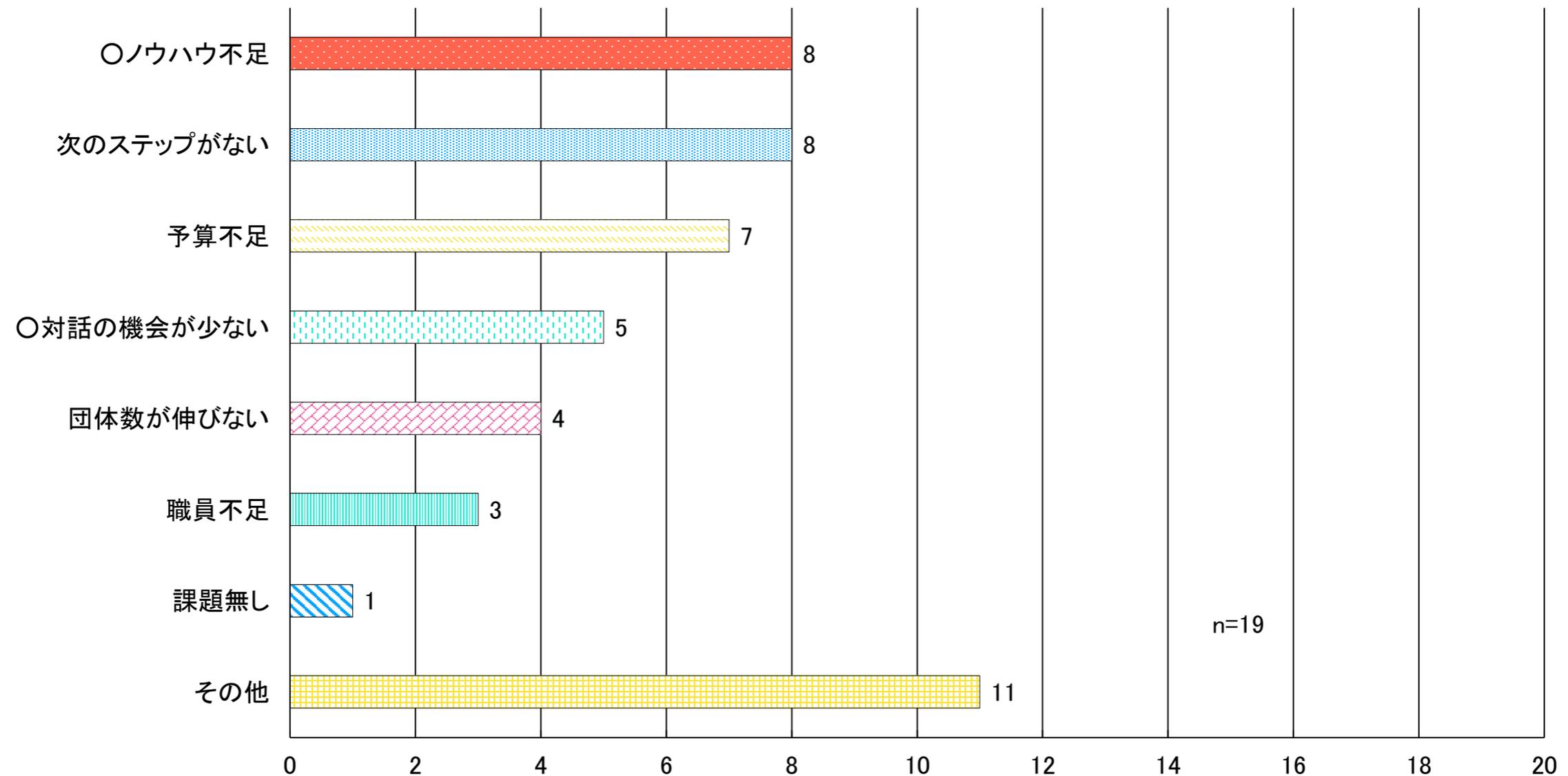
3. 研究内容(1)

◆市民活動を推進するために実施している事業



3. 研究内容(1)

◆市民活動団体への支援・育成で感じている課題



3. 研究内容(1)

◆調査結果に対する考察

- センター設置により「つながり」が発生
- 利用者ニーズは増加傾向
- 専門性を持った者による運営が必要
- 団体の方々が集まれる場所が必要

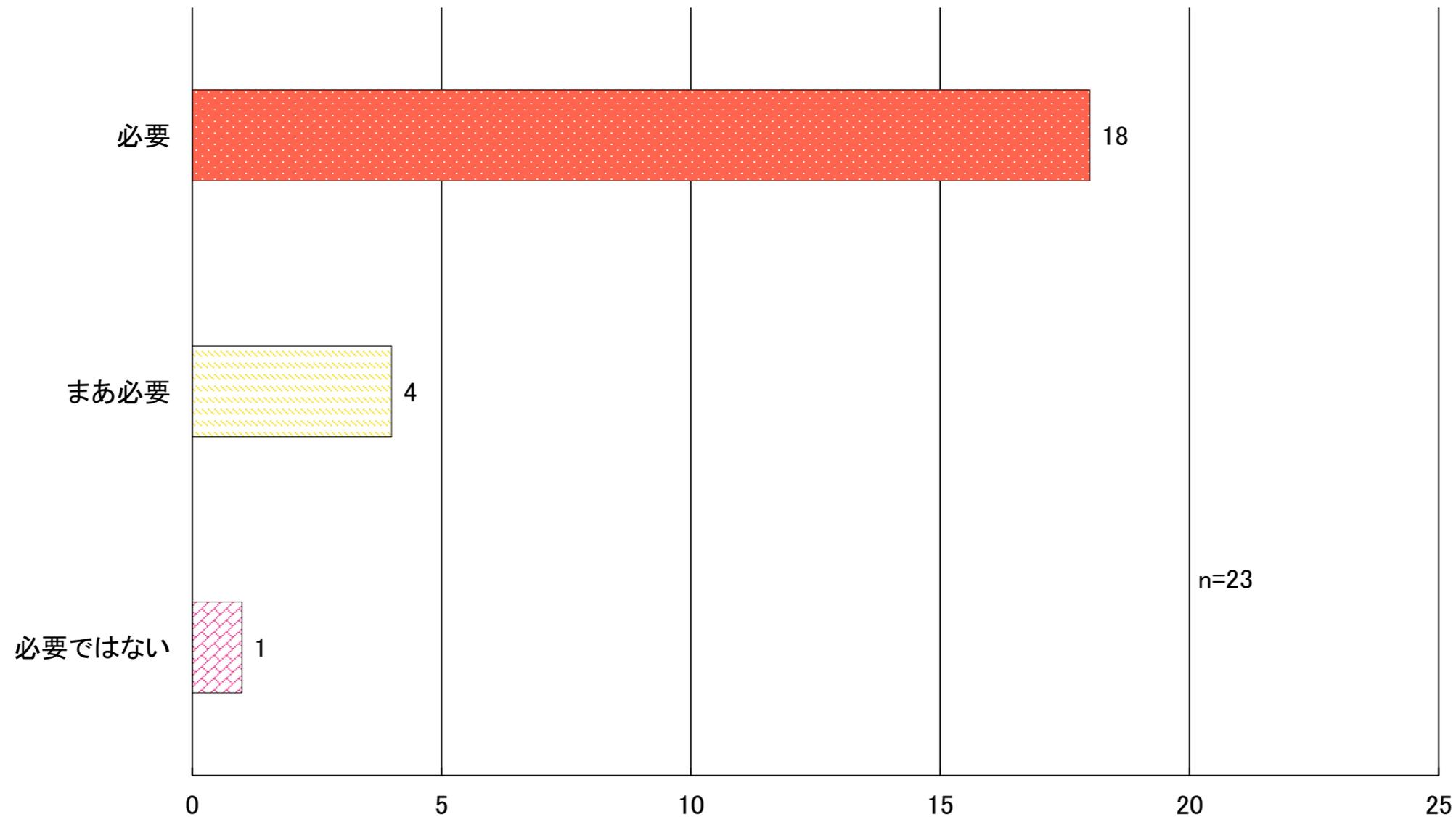
3. 研究内容

(2) 団体へのアンケート調査

- 実施期間：令和元年10月7日
- 対 象：市民活動団体等に所属する者
- 回 答 数：23人

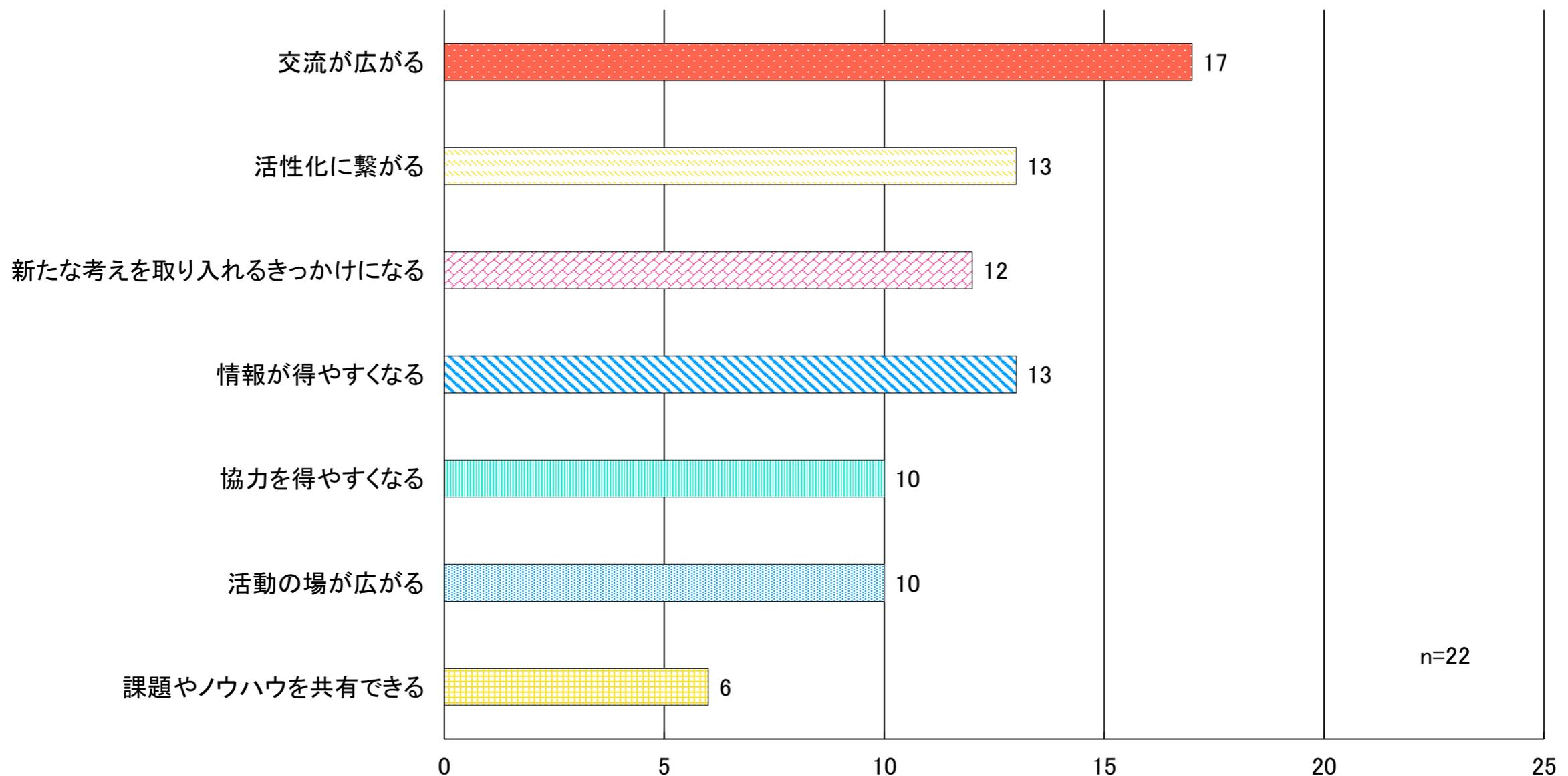
3. 研究内容(2)

◆他の団体やコミュニティとのつながりは必要か



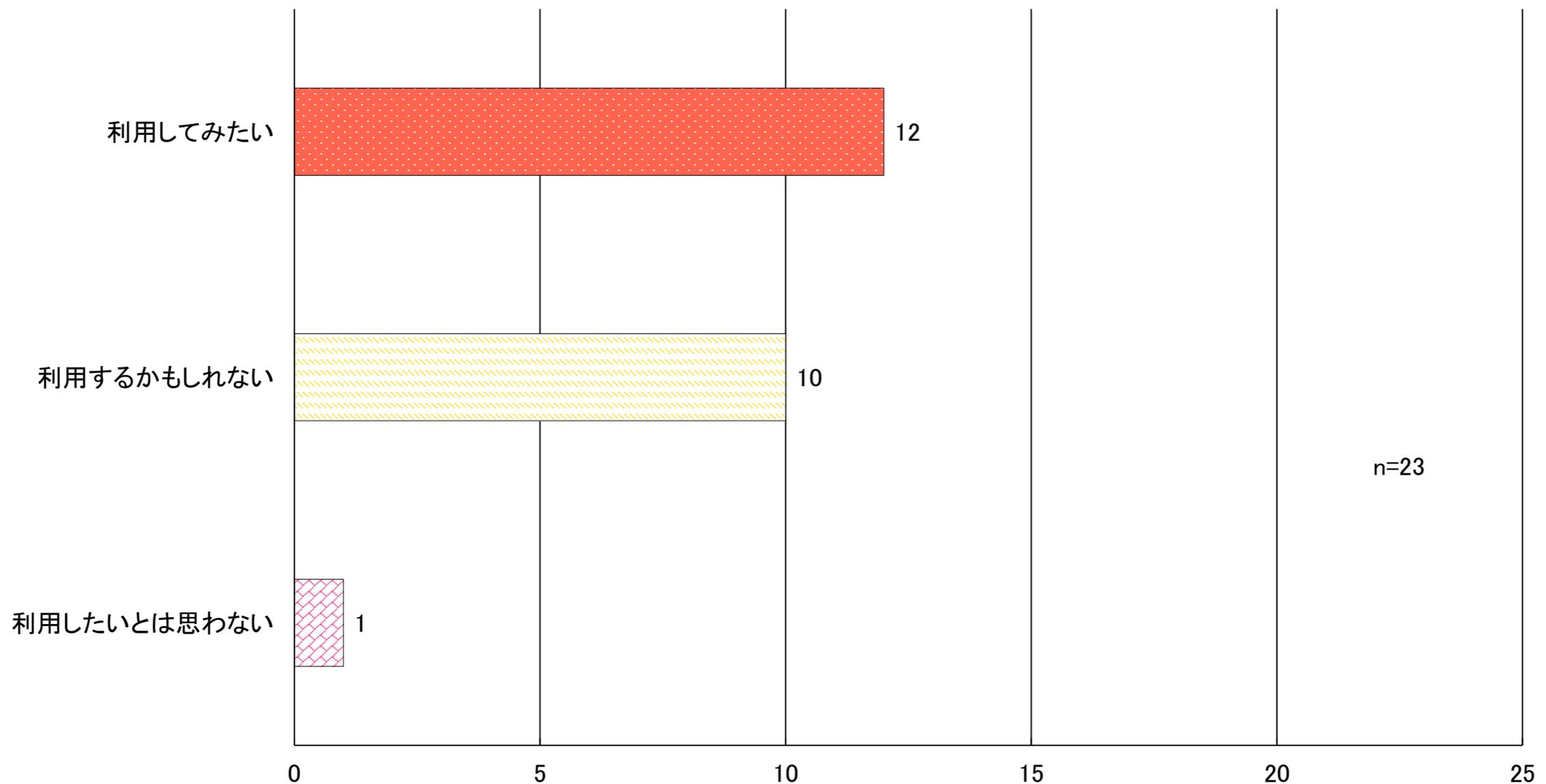
3. 研究内容(2)

◆つながるメリットは何か



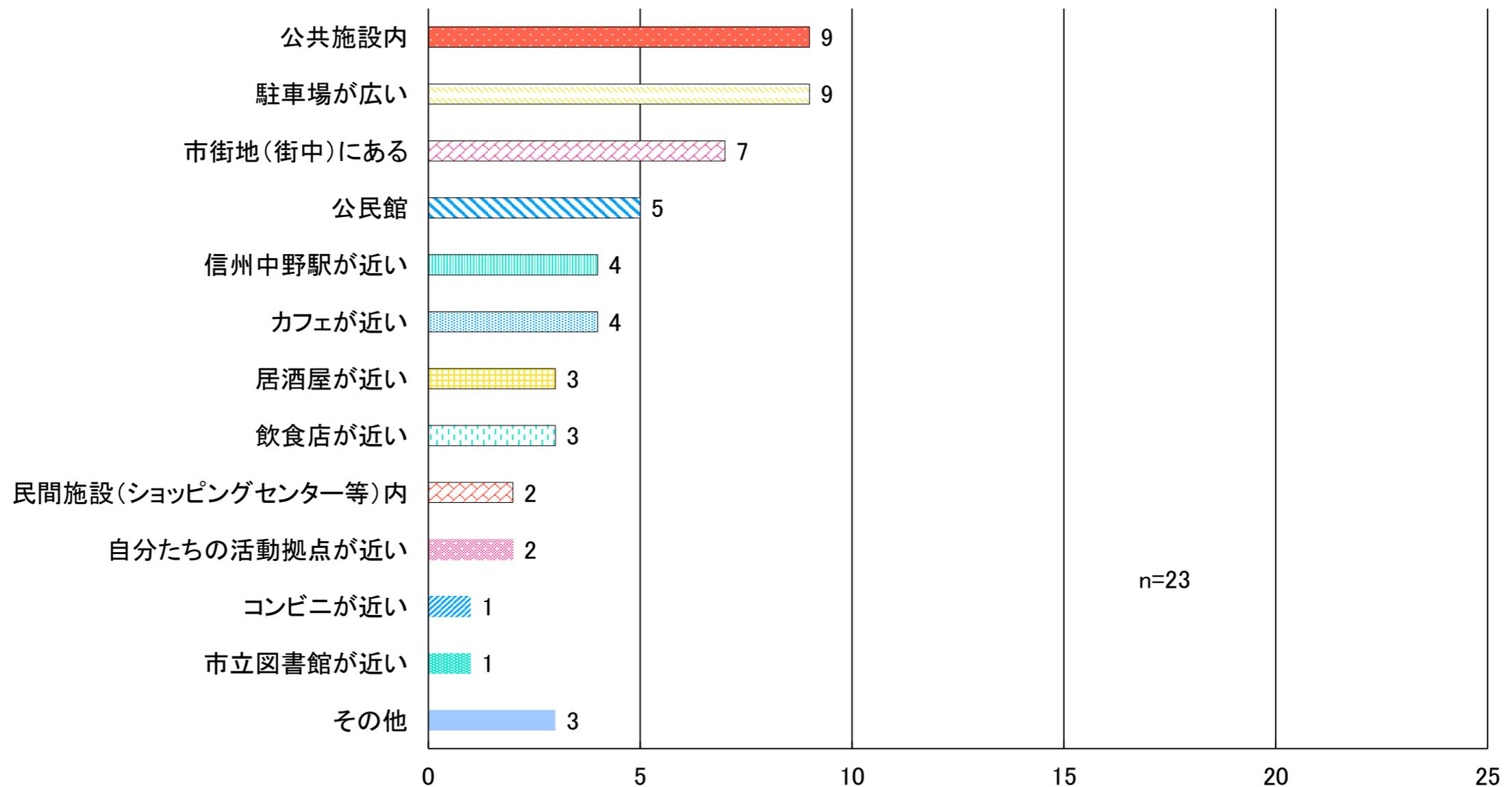
3. 研究内容(2)

◆ ”市民活動用スペース”があれば利用したいか



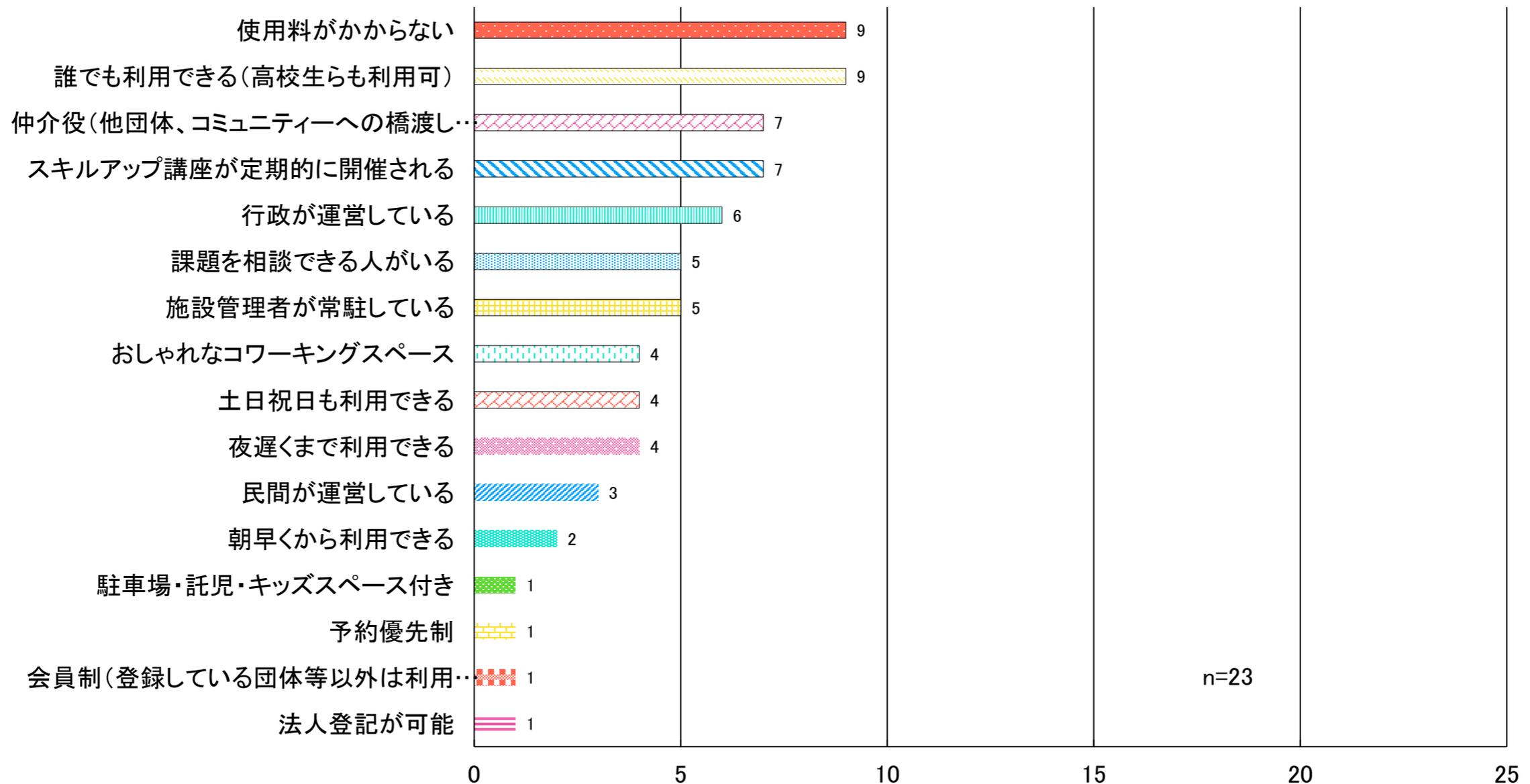
3. 研究内容(2)

◆ どのような「立地」であれば利用してみたいか



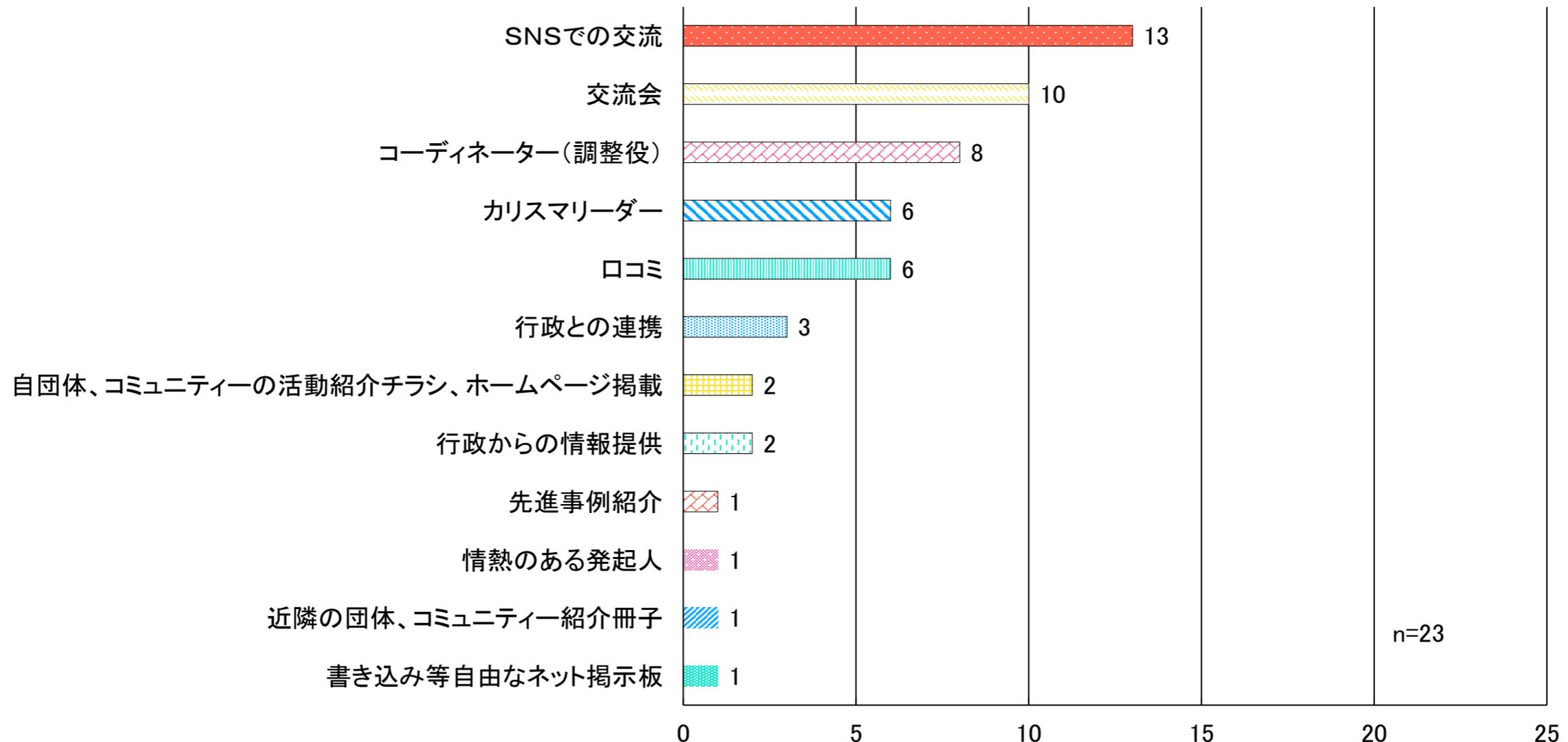
3. 研究内容(2)

◆どのような「条件」であれば利用してみたいか



3. 研究内容(2)

◆つながりを深めるうえで”場“以外に必要なものは何か



4. 今後の研究の進め方

内容	11月	12月	1月	2月
文献調査	●	●		
ヒアリング調査	●	●		
データ整理	●	●		
ワークショップ		●		
まとめ		●	●	
報告書作成			●	●